

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	外外火 17 R <u>2</u>
提出年月日	令和 <u>4</u> 年 <u>7</u> 月 <u>22</u> 日

## 設工認に係る補足説明資料

### 外部火災防護設計の基本方針に関する補足説明資料

#### 薬品タンクの影響について

1. 文章中の下線は、R1 から R2 への変更箇所を示す。
2. 本資料(R2)は、2021年9月7日のヒアリングでの以下のコメントを踏まえ記載を修正したものである。
  - ・薬品タンクを地下に移設するというだけでなく、外部火災による影響が及ばないことがわかるように、どのように設置するのか示すこと。  
： p3, 4
  - ・他に補足説明資料の記載ルールに基づく記載の修正及び一部記載について読みやすさの観点から適正化を行った。

## 目 次

<u>1.</u> 概要	1
<u>2.</u> 薬品タンクの影響	1

## 1. 概要

本資料は、再処理施設の第1回設工認申請(令和2年12月24日申請)のうち、以下の添付書類に示す森林火災の防護設計を補足説明するものである。

- ・再処理施設 添付書類「VI-1-1-1-4-1 外部火災への配慮に関する基本方針」

上記添付書類において、森林火災の防護方針を示している。本資料では、森林火災の発生時における消火活動の成立性に対する薬品タンクの影響について補足する。

本資料で示す設計方針については、再処理施設の後次回の設工認申請において対象とする施設に対しても適用するものである。

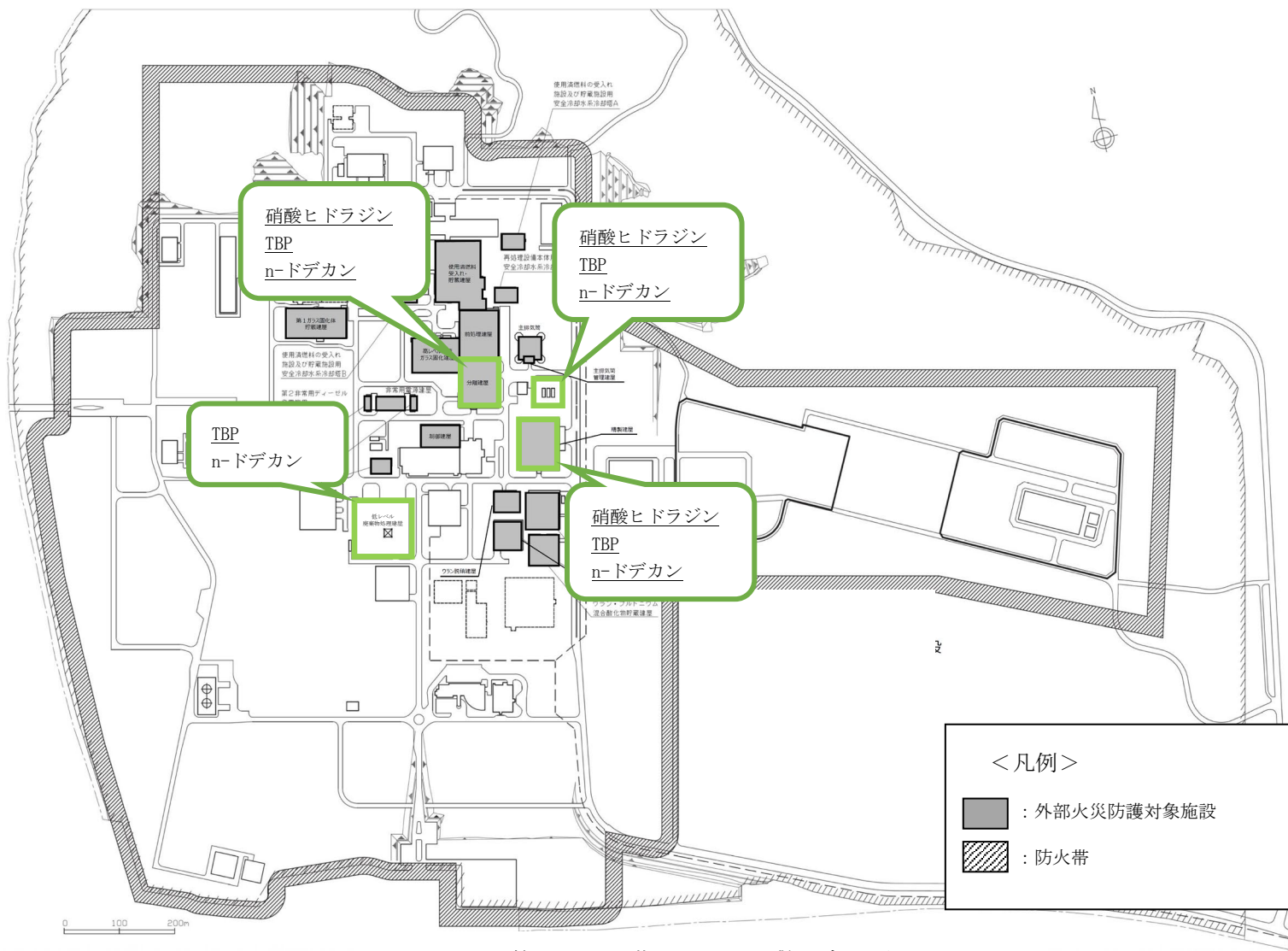
## 2. 薬品タンクの影響

防火帯に到達した森林火災の火炎からの熱影響により、再処理事業所内にある薬品タンクから薬品が漏えいし、消火活動に支障をきたすおそれがないことを確認する。

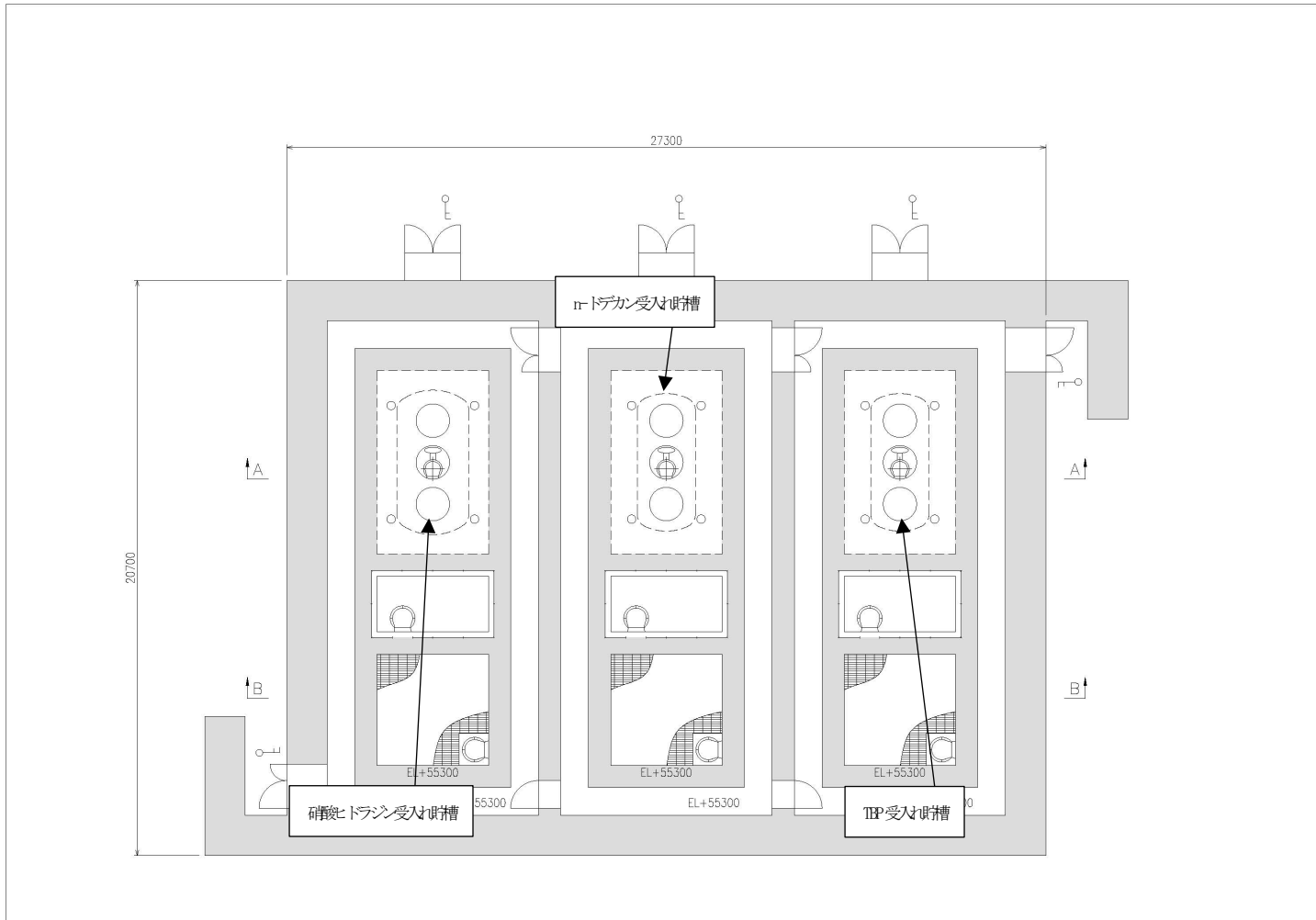
薬品タンクの敷地内配置を第2-1図に示す。再処理事業所の敷地内にある薬品タンクは、屋内に設置されており森林火災の熱影響を受けない設計であることから、防火帯に到達した森林火災の火炎からの熱影響により、再処理事業所の敷地内にある薬品タンクから薬品が漏えいし、消火活動に支障をきたすおそれはない。

敷地内にある薬品タンクのうち建屋内に設置する薬品タンクは、建屋外壁により防護され、森林火災の熱影響を受けない。

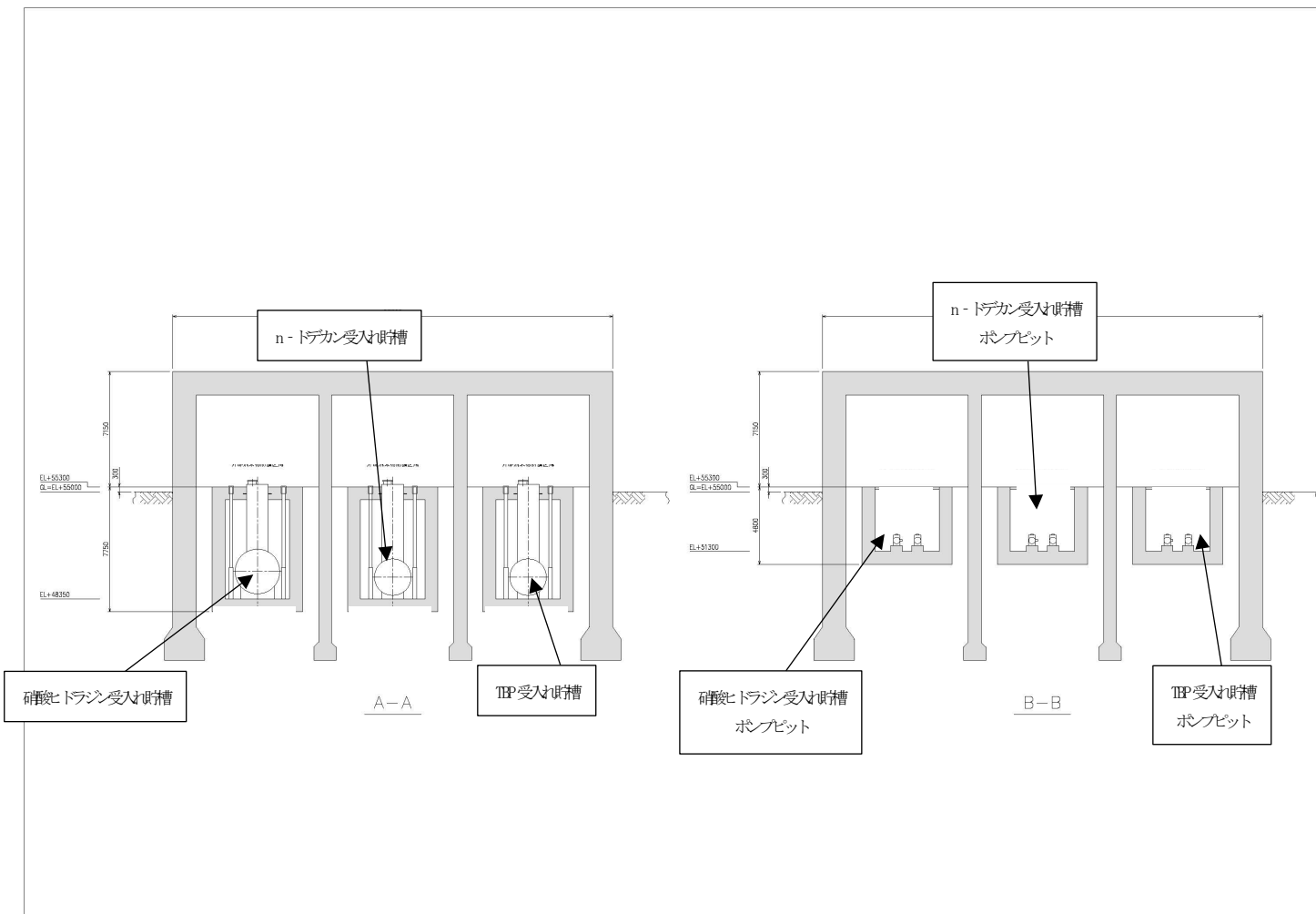
なお、薬品タンクのうち硝酸ヒドラジン受入れ貯槽、TBP受入れ貯槽及びn-ドデカン受入れ貯槽は集中し地下化していることから、これら薬品タンクの屋内配置を第2-2図及び第2-3図に示す。



第2-1図 薬品タンクの敷地内配置



第 2-2 図 硝酸ヒドラジン受入れ貯槽，TBP 受入れ貯槽及び  
n-ドデカン受入れ貯槽の屋内配置(地上 1 階)



第 2-3 図 硝酸ヒドラジン受入れ貯槽，TBP 受入れ貯槽及び  
n-ドデカン受入れ貯槽の屋内配置 (A-A，B-B)